



大和町印刷所 電話四六番

### 助役選挙の其後

大和田與平

自治機關の破壊、開議協の排撃、條文萬能の助役選挙を行つて天下の物笑ひを買つた平町長伏見彦衛君と其の擁護の一統は這般の行爲行動が妥當を欠くことあつて謹慎、今後を考慮し居るものと思ひしに(其内四五の者、特に名を秘す)退場反省組の陰口を云へらし居るに至つては當底常識を以て律すべき三萬町民の代表者に非らざることを痛感して遺憾の意を表する者である。

古語にも雨降つて地面まるどある、一度は土砂降りも避け能はぬことあり、されど雨後の快晴こそ機械を披露し相語るべきが男子の本領でこれこそ責任概念の持ち合せに依つて情熱と理想は燃え然も高邁なる識見は産出されて町勢の發展ともなり相互的研究調査ともなつて是が町民大衆の福祉となるのである。

### 選挙批判

今回の平町助役承認町會をしては極めて些細な問題にかつて居る夫れが然も新には高い交換室が市内六へられてゐない、實に激務な市外七臺も並んでゐる窓からの通風をさへぎつてゐる。

### 暑熱に 額から流れる汗を拭きとる暇もなく エロ電話にいやます暑さ

モシ、モシ何番へ、何部屋の中に空気をよく動かす、可愛らしい聲がたへかしてゐる、これでは暑さの間無く交換嬢のくちびるが流れる、赤い小さな豆電燈がボカ／＼と明滅する。

冬 夏の交換室は暖房装置 扇風機がタツタ一葉、廣い だからとてホン／＼申釋的に 迷ひ活動する、如何に緊縮

聞紙が應面もなく發表して居る、是れが平町にのみ發行されてゐる新聞紙の評論は、町のだから驚かざるを得ない、町長が大人物大人格者を意味し希望して居るは大手腕家の時は助役其人は、町長に依つて事

今 市内の電話總数は六八八十六で毎日、一日十五六度電話をかけるとして一日の市内全交換数は約一萬餘だ、それを午前八時より午後四時退場が二十名、午後四時より翌朝八時までは十二名、午後四時より翌朝九時までは五名で、午後四時より翌朝八時迄が十七名と

それはいくら薄物であるとはいへ若い女性の着附だ、その上に局から貸與されてゐる事務服を附て袴まで一時間の勤務時間は一寸でも座席を離れることが出来ない、いや席を離れると扇風機一臺の此の仕掛

暑 暑い時には神経の活動がにぶくなつて来るのでよく交換室をして無棒の加

新野城に歸つたのである、孔明歸郷して此の手紙を見た時既に胸中に天下三分の計を秘められたのである、三度劉備が訪れて漢室の恢復の爲めに一臂の力を借さんことを請ふや孔明は其の意氣に感じ初めて起つたので彼の胸中誰か又功名を論せんやの概を示したのである。

然し赤い電球が監督の眼のやうに思はれてそれがボカリ／＼ととうとう機械的に接続コートを引出して緊張です、矢つぱり職業意識の

農村諸君 (三)

諸君、都會には都會相當の生活がある、そしてそれと伴ふ相當の苦惱と苦悶がある、地方農村には地方農村相當の生活があり、その現狀は明かに此項熱足寒に對する何の憧憬があらうや、何の模倣があらうや、

暴壓の巷

大和田田尻足下 暴壓、暴壓、なんと云ふ耳觸りの悪い、しかも専ら時代の聲風を憶ひ起す語であらう。然るに立憲治下の今日に於て予は現在親しく此の暴壓を受けつゝあるのである。

古今そう八番附 爲御覽 平理事者の空手形 勸進元 樂國獄

# 紙上放送座談會 (四其)

## 出談者

吉田 五平  
乾 康次  
石川 武八

### 驚異的如神的新療法

吉田 五平  
乾 康次  
石川 武八

吉田 五平  
乾 康次  
石川 武八

### 文化の尖端

乾 康次

### 政治の爲

石川 武八

### 縣議選に於る

石川 武八

### 加藤氏飽迄立候補

石川 武八

### 給水問題と

乾 康次

### 表面寄留で實際は居住

石川 武八

### 筆硯労働後記

治の語でもしよう。記者も政治をやりや僕も飯よりも好きな位ですが新聞記者と印刷業者としての関係上公平の見地に立すべく遠慮して居るのです。石川 武八 石城の民政黨が二つに別れて居ることは誠に遺憾至極です、何とか一致する様に出来ないものでしょうか、是ればかりが私の念願なんです。石川 武八 此間の助役選挙で野崎、秋原の両氏が一室に會飲したことは私は飛び上る程喜びました、こんな場面を引續きまして戴きたいと思つて居ります。記者 貴君の政治努力は反對黨員も認めて居る様です此の秋の縣議選にも花々敷い活動をして下さい。石川 武八 私の商賣は新聞の通りの時計屋で修繕労働者ですが、大和と大和政しなくてはなりません。

## 加藤氏飽迄立候補

此時幹事長の責任をどうする

石城政友會の幹事長井上茂作氏は常任幹事高橋龜松氏を帶同然に自動車にて堂々加藤氏を内郷村小島の住宅に訪問し正式交渉に及ぼす。加藤氏は考慮の上後日可否の回答をなすべしと約して今日及び居るもので氏は既日に及ぶるもので氏は既に立候補の決意をなした居るもの、如く準備を既に完了し居るばかりならば幹部を待たせしめ今更断念させべき理由なく聞満解決は一寸の事には行かざるべし。

## 給水問題と

給水問題と

## 表面寄留で實際は居住

校長様が此の始末

## 筆硯労働後記

筆硯労働後記

## 平町政界悪吏は

革新の意味なり

## 振つて御投稿を

振つて御投稿を

## 第十七期決算報告

第十七期決算報告

資本金	四、五〇〇、〇〇〇
繰上金	一〇、九四四、〇〇〇
積立金	一、五〇〇、〇〇〇
未払金	二、九八八、〇〇〇
未収金	一、五八〇、〇〇〇
未償還金	四、一六三、八五〇
未償還債	一、〇五四、〇〇〇
未償還債	一、〇三三、七三〇
未償還債	六、〇〇〇、〇〇〇
未償還債	四、四〇〇、〇〇〇
未償還債	一、五〇〇、〇〇〇
未償還債	九、〇〇〇、〇〇〇
未償還債	三、一八九、八二〇
未償還債	八、八七五、〇〇〇
未償還債	一、八九七、六〇〇
未償還債	二、八〇八、七五〇
未償還債	三、七四〇、七一〇
未償還債	七、四〇〇、〇〇〇
未償還債	一、四八四、三三〇
未償還債	一、〇三三、七三〇
未償還債	一、四八四、三三〇
未償還債	一、〇三三、七三〇
未償還債	一、四八四、三三〇
未償還債	一、〇三三、七三〇

加藤氏飽迄立候補 此時幹事長の責任をどうする 石城政友會の幹事長井上茂作氏は常任幹事高橋龜松氏を帶同然に自動車にて堂々加藤氏を内郷村小島の住宅に訪問し正式交渉に及ぼす。加藤氏は考慮の上後日可否の回答をなすべしと約して今日及び居るもので氏は既に立候補の決意をなした居るもの、如く準備を既に完了し居るばかりならば幹部を待たせしめ今更断念させべき理由なく聞満解決は一寸の事には行かざるべし。

給水問題と 給水問題と

表面寄留で實際は居住 校長様が此の始末

筆硯労働後記 筆硯労働後記

平町政界悪吏は 革新の意味なり

振つて御投稿を 振つて御投稿を

# 効力偉大難病者大歓迎

科學の力は良く萬病を快癒す  
効能如神これを幾多の治療者に聞け!

特許中山式 **カイソネーチヤ磐城分院**

吉田五平  
平町大町六番地 電話三七七番

平町田町 電話五二三番  
**高久病院**

醫學士 高久忠雄  
新醫學士 赤羽清雄  
藥劑師 佐竹菊雄  
內科 小兒科 外科 花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 和洋銅鐵金物問屋 久釜屋商店

平・五 電話九番九九番

內科、小兒科 市原卯太郎  
外科一般、婦人科 市原陸郎  
外科、梅毒、淋疾 市原三三男  
皮膚科 市原三三男  
平町田町本通り

**市原醫院**  
(入院隨時) 電話一一四番

磐城炭礦株式會社  
鐵道省枕木御用達

**材木商 三佐藤三平**

福島縣石城郡内郷村大字小島字新町  
平 電話 四三〇番

石城郡箕輪村高野  
**高野礦泉入の元湯**

高萩コウ  
賃金  
宮間(乗合) 十  
弊館(貸切) 一圓五十錢

### 輕費診察病案內

郡内廿四ヶ町村の囑託により  
輕費診察をなすつゝあります

診療科目	診察料	藥價	入院料
內科、小兒科、外科、性病科、皮膚科、産婦人科、物理療法科、耳鼻咽喉科、X光線科	診察科 共済會員 無 輕費診察 五十錢 診察科 共済會員 十五錢 輕費診察 一圓以上	診察科 共済會員 無 輕費診察 五十錢 診察科 共済會員 十五錢 輕費診察 一圓以上	入院料 分 共済會員 一圓以上 輕費診察 一圓以上

院長 醫學博士 石山謙郎  
本院主幹 賀澤忠治  
衛生試験 醫化學的検査は何でも致し  
ます遠慮なく御利用下さい  
公休日は廢しました

平町城共濟會  
電話四六一番

## コルダールと 防腐劑大勉強!

一升二升のハカリ賣りもします  
ハケと容器も貸します  
電話は隣の二〇商店へ二六番  
配達迅速 頗る親切  
平町田町通り一〇商店隣  
**尚美堂藥店**  
電話呼出二二八番

## 熱田齒科醫院

平町丁目(郵便局前通り)  
院長 熱田留

滋養豊富で  
美味は百パーセント

久保田のパンを  
ご最負ください  
平十五丁目(廿三夜尊堂前)  
**久保田パンヤ**

小賣店(三町目四十番地)  
常磐銀行支店側

## 建築・佛石

の山玉黒花崗岩を品質本位!!!薄利多賣主義!!!にて名石として全國的に販路を擴めて居ります。地方用佛石等は特に御相談に應じます。多少に拘らず御引立下さい

探堀工業所 石城郡川部村山玉  
黒目ナシ、黒イホ  
以上二種

石城郡勿來町窪田源助町  
**探堀業 片寄清義**

東京支店  
東京市京橋區東湊町四十一番地  
勿來黒花崗岩販賣所

牛豚肉

卸小賣配達迅速

三二二屋  
平町田町 電話三三三番

修繕は正確 料金は低廉

**石川時計技術店**

平町才樋小路五番地

三井生命保險株式會社代理店

**佐藤永春**

福島縣双葉郡浪江町大字權現堂下柳町十二  
電話 七三三番

石城郡内郷村大字小島字新町十一  
電話 四三〇番

三 材木店 佐藤三平  
電話 四三〇番

三 白河町 欠吹町  
電話 四二番

三 材木店 宗像與四造  
電話 四二番